

写真で綴る下越地区公民館職員研修会（R5.10.4、阿賀野市）

10月4日(水)に下越地区公民館職員研修会が15名の参加者で、阿賀野市安田地区の3つの施設（やすだ瓦ロード、吉田東伍記念博物館、安田交流センター）で開催されました。主に公民館現場の第一線に立つ方が参加し、まちあるき、博物館見学、情報交換を通して研修を深めました。



開会のあいさつ 下越教育事務所 鈴木課長



参加者のバックが「かわらティエ」



阿賀野市の高橋さんが日程説明



安田瓦協同組合の加茂さんが案内

かわらティエではなぜ安田に瓦産業が興ったか、安田瓦の特徴などを現地で学ぶ。



安田瓦の屋根の上で記念写真。
右後方には鬼瓦のモニュメント。
（この屋根は傾斜が緩やか）



瓦ロードでは、バス停はもちろん、トイレの外側、内側ともに瓦ぶき



かわらティエ内で加茂さんの指導でミニ鬼瓦作りに挑戦、しばし全員無言、集中。



乾かして焼くと鬼瓦に！ 後日送付

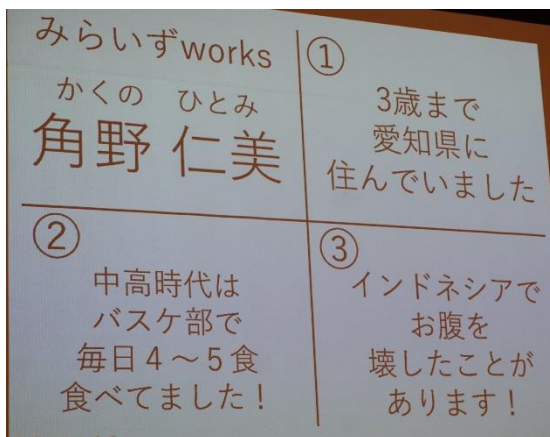
次は吉田東伍記念博物館へ



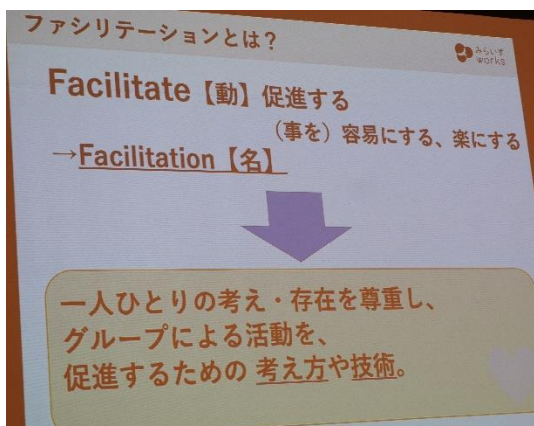
館内で渡辺文男さんから、吉田東伍の代表的な業績である大日本地名辞書や最新の研究で明らかになった貞観地震での津波の解析などについてご説明をいただいた。



午後の会場は安田交流センター ファシリテーターは角野仁美さん
 情報交換テーマは「人づくり、つながりづくり、地域づくり」
 角野さんは「みらいずworks」で学びのクリエイターとしてご活躍。



自己紹介、①～③で一つ嘘がある。 これを使って班の中で楽しく自己紹介
 このあと自分の公民館について「聴く人、話す人、書く人」と役割を決めて、
 考えを交換し合った。



ファシリテーションの意味、3つのスキル「聴く、話す、書く」、
 インタビューの質問スキルなどを学び、各自でそして班内意見交換で、
 講座や研修の企画作りに取り組んで、最後に発表しあった。

1日日程で充実した研修会でした。講師の角野さん、阿賀野市の関係者の皆さん、
 事務局の下越教育事務所社会教育課の皆さん、お疲れさまでした。そして感謝です。